

令和6年度サーベイランススケジュール

畜種	対象とする疾病等	目的	実施方法				
			実施地域	実施時期	対象畜種	事業量 (頭、羽)	方法
牛	伝達性海綿状脳症	定型:清浄性の確認 非定型:発生状況の監視	県下全域	年間	乳用・肉用	5	ELISA
	ブルセラ症	清浄性の維持	〃	〃	〃	32	臨床検査、急速凝集反応、ELISA
	結核	清浄性の維持	〃	〃	〃	10	臨床検査、ツベルクリン
	ヨーネ病	清浄性の確認、感染牛の摘発、農場への侵入防止	横浜市(戸塚区、栄区、泉区及び瀬谷区の区域に限る。)、相模原市(緑区相原、相原1丁目から6丁目まで、大島、大山町、上九沢、下九沢、田名、西橋本、二本松、橋本、橋本台、東橋本及び元橋本町、中央区並びに南区の区域を除く区域に限る。)、藤沢市、小田原市、秦野市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、足柄上郡大井町、山北町及び開成町並びに足柄下郡箱根町、真鶴町及び湯河原町	〃	〃	2,878	臨床検査、スクリーニング、リアルタイムPCR、細菌検査 (県域を2区域に分け、隔年でそれぞれの地域の検査を実施、発生農場:発生から1年間は4回/年以上、2年目以降は発生状況に応じて検査)
	アカバネ病	流行の予察	県下全域	6.8.9.11月	〃	200	臨床検査、中和試験
	牛伝染性リンパ腫	浸潤状況の把握、まん延防止	〃	年間	〃	1,870	臨床検査、ELISA、PCR、血液検査
	牛伝染性鼻気管炎	感染牛摘発、清浄性の確認	〃	〃	〃	10	臨床検査、FA、中和試験
	サルモネラ症	清浄性の維持・確認	〃	〃	〃	20	臨床検査、細菌検査
	口蹄疫	防疫対策の強化	〃	〃	〃	10,000	臨床検査
	牛ウイルス性下痢	浸潤状況の把握、発生予防	〃	〃	〃	475	臨床検査、中和試験、ELISA
豚	豚熱	ワクチン接種による免疫付与と状況の確認	県下全域	〃	繁殖用・肉用	6,600	臨床検査、血液検査、FA、PCR、中和試験、ELISA
	豚熱	まん延防止	〃	〃	〃	178,000	ワクチン接種
	アフリカ豚熱	国内への侵入及び発生の予察	〃	〃	〃	50	臨床検査、PCR
	オーエスキー病	清浄性の維持、発生予防	〃	〃	〃	1,340	臨床検査、ELISA、中和試験
	流行性脳炎	発生予防	〃	〃	〃	40	臨床検査、HI試験
	豚丹毒	浸潤状況の把握、発生予防	〃	〃	〃	50	臨床検査、生菌濃集
	豚繁殖・呼吸障害症候群	感染豚の摘発、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	1,700	臨床検査、ELISA、PCR
	サルモネラ症	感染豚の摘発、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	100	臨床検査、細菌検査
	口蹄疫	防疫対策の強化	〃	〃	〃	64,000	臨床検査
	豚流行性下痢	清浄性の維持・確認、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	250	臨床検査、中和試験、PCR
鶏	高病原性鳥インフルエンザ	発生予防・発生予察	県下全域	〃	採卵用、肉用	2,250	臨床検査、ゲル内沈降反応、分離培養
	ニューカッスル病	感染鶏群の摘発、抗体保有状況の把握	〃	〃	〃	1,090	臨床検査、HI試験
	鳥マイコプラズマ症	感染鶏群の摘発、清浄性の確認	〃	〃	〃	2,180	臨床検査、凝集反応
	家きんサルモネラ症	感染鶏群の摘発、清浄性の確認	〃	〃	種鶏	80	臨床検査
蜜蜂	腐そ病	感染蜂群の摘発、発生予防	横浜市、小田原市、茅ヶ崎市、足柄上郡中井町、松田町及び開成町並びに足柄下郡真鶴町	年間	採蜜用、受粉用	800	ふそ病検査 (県域を3区域に分け、3か年でそれぞれの地域の検査を実施)
野生いのしし	豚熱	浸潤状況の把握	県下全域	年間	野生いのしし(死亡個体)	260	リアルタイムPCR、ELISA
	豚熱	浸潤状況の把握	〃	〃	野生いのしし(捕獲個体)	1,740	リアルタイムPCR、ELISA
	アフリカ豚熱	浸潤状況の把握	〃	〃	野生いのしし(死亡個体)	130	リアルタイムPCR
	アフリカ豚熱	浸潤状況の把握	〃	〃	野生いのしし(捕獲個体)	870	リアルタイムPCR